

15:1 また私は、天にもう一つの大きな驚くべきしるしを見た。七人の御使いが、最後の七つの災害を携えていた。ここに神の憤りは極まるのである。

15:2 私は、火が混じった、ガラスの海のようなものを見た。獣とその像とその名を示す数字に打ち勝った人々が、神の豎琴を手にしてガラスの海のほとりに立っていた。

15:3 彼らは神のしもべモーセの歌と子羊の歌を歌った。「主よ、全能者なる神よ。あなたのみわざは偉大で、驚くべきものです。諸国の民の王よ。あなたの道は正しく真実です。

15:4 主よ、あなたを恐れず、御名をあがめない者がいるでしょうか。あなただけが聖なる方です。すべての国々の民は来て、あなたの御前にひれ伏します。あなたの正しいさばきが明らかにされたからです。」

15:5 その後、私は見た。天にある、あかしの幕屋である神殿が開かれた。

15:6 そして七人の御使いが、七つの災害を携えて神殿から出て来た。彼らは、きよく光り輝く亜麻布を着て、胸には金の帯を締めていた。

15:7 また、四つの生き物の一つが、七人の御使いたちに七つの金の鉢を渡したが、それには世々限りなく生きておられる神の憤りが満ちていた。

15:8 神殿は、神の栄光とその御力から立ち上る煙で満たされ、七人の御使いたちの七つの災害が終わるまでは、だれもその神殿に入ることができなかった。

「神の激しい怒りはここに極まる」というような恐ろしい災害が始まるのですが、信仰者は「あなた

のみわざは偉大」と、喜びの讃美をささげています。なんという平安でしょうか。これが信仰者に与えられている特権です。それは今の世においても同じです。困難な中にあって主の救いと守りを信じている者は、神様に信頼して平安でいられて讃美が出てくるのです。

そしてその信仰がそのまま終りの日にも表れます。または個人的な終りの日である肉体の死に際しても同じです。終りの日の完全な勝利に根ざして、今においても平安を与えられましょう。そして心に勝利をいただきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

